

3年生が作業学実習1にて籠細工に取り組みました（2025.11）

2025年12月26日

「人は作業をすることで元気になれる」—日本作業療法士協会—

対象者が元気になるよう、作業療法士はいろいろな作業活動を利用します。

その作業活動として3年生では「手工芸」の籠細工に取り組みました。

籠は乾燥すると折れやすいので、水を含ませて柔らかくしたもので編みます。

臨床現場では、巧緻性や上肢の力の調節、

作業への耐久性（長時間の座位保持）などの改善を目的に利用されます。



肝心の編み始め



側面を編み上げ中です



縁を止めています



いろいろな作品が完成